

自然環境と健康な街づくり

-疫学調査を用いた研究事例紹介-

- (1)「領域横断研究 疫学調査と自然環境」
千葉大学 予防医学センター・准教授 鈴木規道
 - (2)「健康地理学からみた人と緑、都市の関係性」
東北大学大学院環境科学研究科・准教授 埴淵知哉
 - (3)「都市、緑、健康におけるAIとビッグデータの可能性」
東京大学先端科学技術研究センター・特任准教授 吉村有司
 - (4)「環境と健康、都市・空間デザインへの展開」
千葉大学予防医学センター
千葉大学デザイン・リサーチ・インスティテュート・准教授 花里真
 - (5)「新型コロナウイルス感染症に対するオープンスペースの可能性」
国土交通省都市局 公園緑地・景観課
公園利用推進官 秋山義典
- 総合司会進行 千葉大学 園芸学研究院・准教授 加藤 顕
パネルディスカッション司会 千葉大学
園芸学研究院・准教授 竹内智子

9月11日

[12:30~15:00]

Zoomによるオンライン
シンポジウム

シンポジウム趣旨

自然環境と健康な街づくり-疫学調査を用いた研究事例紹介-
新型コロナ感染症の感染拡大による行動規制や、テレワークの奨励などにより、住環境の周辺で身近な緑に触れる機会が増加しています。緑との関わりが重要度を増す中で、予防医学の視点から緑化を取り入れた街づくりによって、人の行動や生活習慣を変えるという考え方や手法を紹介します。アフターコロナを見据えて、これからの街づくりをどのようにすべきか？現状を把握するための人の行動や緑のモニタリング技術、街づくりをどのように変えれば、人の行動を変えることができるのか？緑を取り入れた街づくりのあり方を講演者とともに議論します。

お問い合わせ先：ryokkakou2021@gmail.com

